



京臨技会報

KYOTO ASSOCIATION OF MEDICAL TECHNOLOGISTS

発行所 (社)京都府臨床検査技師会
 発行責任者 湯浅 宗一
 編集者 白波瀬 浩幸
 〒606-8395 京都市左京区東丸太町
 9 番地の 1 マンパワービル 3F
 TEL・FAX 075-752-5090
 E.mail : mbox2@kyoto-amt.js-md.net

CONTENTS

TOP	事業部の行事案内
PHICUP REPORT	輸血検査実技講習会
REPORT	研修会報告 (臨床化学・細胞・一般・生理)
VOLUNTEER	大阪アメ村で検査ボランティア募集
SCHEDULE	行事予定
ANNOUNCEMENT	京臨技の後援事業の開催案内
PROCEEDINGS	理事会議事録 (第 1 回、第 2 回)

事業部の行事案内

第 9 回 京臨技 新入・転入会員研修会のお知らせ

日時：平成 19 年 9 月 14 日 (金)

午後 6 時 ~ 午後 9 時

会場：京都教育文化センター

302 号室

講演：「これからの技師に望むもの」

田中 美智男氏 (京都大学医学部

附属病院検査部 技師長)

技師会より：「会の組織・運営などの説明」、「研

究班活動について」、懇親会 (クイズ大会)

申し込み：京臨技川端丸太町事務所

TEL・FAX 075-752-5090

E.mail : mbox2@kyoto-amt.js-md.net

申し込み締め切り：平成 19 年 8 月 31 日

第 18 回北部学術発表会

場所：福知山市 サンプラザ万助

日時：平成 19 年 12 月 15 日 (土)

記念講演：金沢大学医学部 大村健二先生

一般演題：募集中

多くの地臨技では都道府県単位で地区学会を開催し、研究発表の場を設けています。

京臨技では地区学会を実施していませんが、この北部学術発表会は京臨技会員ならどなたでも発表や参加いただけますので、若い方はもとよりベテランを含めた会員諸氏の積極的なご参加をお待ちしています。

お問い合わせ：綾部市立病院 四方

Tel.0773-43-0123

E.mail:shikata.m@ayabe-hsp.or.jp

PIICUP REPORT

ピックアップレポート

輸血検査実技講習会

行事名：輸血検査実技講習会

日時：平成19年6月30日土曜日 13:00～17:00

行事名：輸血検査実技講習会

日時：平成19年7月7日 土曜日 9:00～17:00

会場：京都保健衛生専門学校 第1、第2実習室

講師名：小黒 博之(オリンパス株式会社 ライフサイエンスカンパニーダイアグノスティックシステムズ
国内営業部輸血営業推進室学術チーム)他、輸血検査研究班運営委員

分類：C-77-10点(各々)

共催等：オーソ・クリニカル・ダイアグノスティクス株式会社

輸血検査実技講習会 <ABO・Rho(D)血液型、不規則抗体スクリーニング、クロスマッチ>
全体参加人数(スタッフ+参加者) 31人+賛助会員2人
会員参加人数 19人(仮会員参加人数3人)

2回の実技講習会の初級編で ABO・Rho(D)血液型、不規則抗体スクリーニング、クロスマッチ、交差適合試験を行いました。

仮会員の方の参加もあり、輸血検査の基本的なことについて実技を行うとともに、反応結果から抗体の推定を行いました。



輸血検査実技講習会 <ABO・Rho(D)血液型、不規則抗体スクリーニング、クロスマッチ、直接クームス試験、抗体解離試験(溶血性輸血副作用発生時の輸血検査)>

全体参加人数(スタッフ+参加者) 31人+賛助会員3人
会員参加人数 23人(仮会員参加人数0人)

例年行っている実技講習会ですが、今年も予定人数を上回る申し込みがありました。参加枠を増やし申込者全員が参加することができました。

今回は輸血後に直接クームス試験が陽性になる検体を用意し、基本的な検査に加え直接クームス試験と抗体解離試験を行いました。

講習内容だけでなく日常のちょっとしたことについて質問もあり、非常に和やかなムードであり輸血検査に携わらない方でも気軽に参加していただきました。

文責：京都南病院 相田幸雄



REPORT

研修会報告

●●● 臨床化学 07-009

日時：平成19年06月26日(火)(18:30~20:30；
京都保健衛生専門学校視聴覚教室)
参加人数：21(16)人 分類：C-79-10

主題：生化学における標準化
副題：標準化の動向
講師：細川 幹夫 氏(株式会社セロテック 企画
開発室)
協賛：株式会社セロテック

- 1, 臨床検査データの共有意義について
- 2, 国際及び国内の標準化の動向について
- 3, 日本臨床検査技師会の取り組み 「検査データ
共有化マニュアル」医学検査 Vol155, No11
- 4, 日本臨床化学会(JSCC)の取り組み 「勧告法・
指針等の提示」
- 5, 日本臨床検査標準協議会(JCCLS)の取り組みにつ
いて
- 6, 内臓脂肪症候群(メタボリックシンドローム)に
着目した生活習慣病予防のための
標準的な検診・保険プログラムについて
- 7, 検査値共有化実践のための基礎知識について

- 標準化・トレーサビリティ・不確かさとは
- 8, メーカーの取り組みについて
- 9, ユーザーの取り組みについて

2008年4月、その推定対象者5618万人とされる
検診施行予定が目前に迫る血液化学検査8項目の
標準化が求められ、検査データ共有化の義務化も予
定される各施設は、トレーサビリティ連鎖体系に整
合性の取れた分析法及び校正用物質を用いること、
測定値の真度を確認し、必要ならば補正すること、
実試料での互換性を確認し、日常検査の不確かさの
大きさを求めることが求められる。それらにはまた、
信頼できるメーカーの協力も必須であろう。

日々のデータ管理に対する姿勢を問われ、今以上
に内部及び外部精度管理の重要性お知らせました。
来年度から始まる「特定健康診査」の必須項目(8
項目)の精度保証の体制を確立・維持する。さらに
日臨技が取り組んでいるデータ共有化項目を拡大
する事が重要と考える。

自施設を振り返り、それぞれの認識・意識の差の
縮小する、また情報交換の必要性をも考えさせられ
た研修会だった。

平成19年06月26日報告：下川原 えり

●●● 細胞 07-003

日時：2007年06月30日(土)(13:00~17:00；京
都保健衛生専門学校)
参加人数：37(31)人 分類：C-72-10点

主題：乳腺細胞診の講義と実技講習会
講師：南雲 サチ子 技師(大阪府立成人病センタ
ー臨床検査科)
共催等：日本臨床細胞学会京都府支部

南雲サチ子先生に乳腺穿刺細胞診に関する講義
と実技講習をして頂いた。乳腺穿刺細胞診は、近年
乳癌が増加傾向にあるため、比較的遭遇しやすい検
体であるが、判定困難な症例が少なくない。非浸潤
性乳管癌は、判定が難しく、我々が最も苦勞する症
例のひとつである。そのような症例の見方やポイン
トを明確に解説していただき、実際の標本を鏡検し
た。大変有意義な実技講習会であった。

2007年07月27日報告：黒川 聡

●●● 一般 07-004

日時：2007年06月13日(水)(18:30~20:00；京
都保健衛生専門学校)
参加人数：38(31)人 分類：C-71-10点

主題：一般検査分野 研修会
副題：一般検査基礎講座1
「尿定性検査の基礎」
講師：湯橋 紀子 氏(栄研化学株式会社 マーケ
ティング推進室)

平成19年度一般検査研修会第1回は、『一般検査
基礎講座1 尿定性検査の基礎』として、栄研化学
(株)の湯橋紀子氏に講演をしていただきました。
予想を越える多数の出席者にうれしい悲鳴でした。
「尿試験紙検査法」JCCLS提案指針に基づいて分か
りやすく話していただき、今後の課題点についても
お話いただきました。

出席者は真剣に話を聞いていて、講演後の質問も

活発に行われました。尿試験紙検査は手軽にできる検査ではありますが、奥が深い検査であると思いま

した。

平成19年06月27日報告：山路 順子

●●● 一般 07-005

日時：2007年06月27日(水)(18:30~20:00;京都保健衛生専門学校)

参加人数：39(32)人 分類：C-71-10点

主題：一般検査分野 研修会

副題：一般検査基礎講座2

「尿沈渣検査：血球・円柱類」

講師：堀岡 真人 技師(紫の診療所)

一般検査基礎シリーズの第二回目は、当研究班副班長の堀岡技師に「円柱・血球類」について講義をしていただきました。第一回目と同様、多数の会員の方が参加され、尿沈渣への関心の高さが伺えました。内容は変形赤血球としなければいけない赤血球

や、どうして変形赤血球ができるのか?や、いろいろな白血球をスライドで見ました。引き続き、円柱類は基本的な円柱の生成機序や、尿沈渣検査法2000に基づいた円柱のとり方などを講演していただきました。講義終了後、参加者と講師の間で、活発に質疑応答が行われ、有意義な時間が過ごせたと思いました。

赤血球形態、白血球の有無、円柱の有無と種類分けは、臨床医からすれば、尿路感染症や腎炎の診断および経過観察に重要な情報となる分、我々尿沈渣を鏡検する技師も尿沈渣から正確に情報を拾い、これを報告する技術が必要なので改めて実感できた研修会でした。

平成19年07月04日報告：城戸 孝夫

●●● 一般 07-006

日時：2007年07月04日(水)(18:30~20:00;京都保健衛生専門学校)

参加人数：31(26)人 分類：C-71-10点

主題：一般検査分野 研修会

副題：一般検査基礎講座3

「尿沈渣検査：上皮細胞類」

講師：佐伯 仁志 技師(国立病院機構京都医療センター)

平成19年7月4日、尿沈渣検査(上皮細胞類)についての、一般検査基礎講座の第3回目が、京都

保健衛生専門学校で行われました。当日は大雨が降っていたにも関わらず、多くの会員に参加して頂きました。

尿沈渣標本には様々な上皮細胞類がみられ、それらの特徴について、分かりやすく説明して頂きました。特に、異常細胞との鑑別は困難な場合があり、しばしば判定に困ることが多々あります。尿沈渣を鏡検する技師にとって、大変役立つ研修会であったと思います。講師をして頂いた、NHO京都医療センターの佐伯技師、ありがとうございました。

平成19年07月11日報告：薬真寺 香奈

●●● 一般 07-007

日時：2007年07月18日(水)(18:30~20:00;京都保健衛生専門学校)

参加人数：31(28)人 分類：C-71-10点

主題：一般検査分野 研修会

副題：一般検査基礎講座4

「尿沈渣検査：異型細胞」

講師：佐々木 正義 技師(市立吹田市民病院)

一般検査基礎シリーズの第4回目は、市立吹田市民病院臨床病理部に所属の、佐々木正義技師に講義をしていただきました。

佐々木技師は、日臨技精度管理調査部会に所属しており、サーベイの結果を踏まえて、尿検査に携わる技師の悩む場面も熟知しておられ、尿細管上皮等

鑑別のためにも、細胞の異型のみで判定するのではなく、まずは標本背景、そして出現する赤血球・・・特に赤血球形態から始まり、得られる患者情報などすべて細胞の判定材料に用いる重要性を教えていただき、とてもうなずけるものがありました。職場によっては、企業検診やドック等、検尿件数は多くても、異型細胞に遭遇することはまずないような環境もあると思います。

しかし、可能性は「0」ではありません。スクリーニングの時点で見つけることができるように、また困ったときにも教わったことをもとに正確に異型細胞の判定ができるよう、われわれ自身も本日の研修会を糧に、精進しなければならないと思いました。

平成19年07月24日報告：吉岡 あさみ

●●● 生理 07-010

日時：平成19年07月05日(土)(18:30~20:00;京都保健衛生専門学校)

参加人数：23(22)人

主題：呼吸機能検査研修会

副題：初級編

講師：鳥飼 浩 氏((株)日本光電)

講師：倉橋 宗重 氏((株)日本光電)

京臨技生理研究班主催である勉強会、「呼吸機能検査」が京都保健衛生専門学校にて行われました。日本

光電株式会社の方を講師に向かえられ、新たに改正された「スパイロメトリーハンドブック」を参考にし、講義がされました。実際に肺機能機器を用いて、VC・FVC測定をするなど、わかりやすく基礎的な講義であったと思います。その後はVmax(呼吸代謝測定装置)について説明があり、消毒が簡単であり、開放回路を用いているなどの簡単な原理についての説明をしていただきました。今回は基礎の講義であったので、肺機能検査をこれから始める方などにわかりやすかったと思います。

平成19年07月18日報告：川原 郁代

大阪アメ村で検査ボランティア募集

厚生労働省では平成16年度から新規のエイズ対策として休日HIV抗体検査・相談事業を開始することとなり、大阪市と私どもHIVと人権・情報センターが実施担当者として、準備を進めております。本事業は保健所などの行政機関でなく、民間組織が住民に対するカウンセリングと併せて、しかも即日結果通知を前提として、安心かつ迅速な検査を行うことにより、広汎な人々の利用を可能にする画期的なモデル事業として、全国初の試みとなるものです。

つきましては、本事業の円滑な開始を可能とするため、是非ともみなさまのご協力を頂きたいお願い申し上げます。

<事業概要>

1. 主催 厚生労働省 大阪府 大阪市
特定非営利活動法人 HIV と人権・情報センター
2. 対象 HIV検査を希望する一般住民 30~50名(見込)/週1回
3. 実施 2004年7月4日開始
毎週日曜日15:00~19:00(検査は実施は15~17時)
4. 会場 アメ村,サンサンサイト(4~6階、エレベーター無し)
アメリカ村通称三角公園付近(大阪市中央区西心斎橋)
5. 運営 特定非営利活動法人HIVと人権・情報センター
6. 実施体制 検査技師2名、医師1名、看護師(採血)1~2名、受付2名、
スーパーバイザー1名、ヘルスアドバイザー3名

<ご協力いただきたい内容>

・検査技師

ダイナスクリーン・HIV-1/2(アボットジャパン)による検査等

参加の際の会場までの交通費につきましては、実費をお支払いさせていただきます。

<ご質問・参加希望の連絡は>

和歌山県 海草振興局 健康福祉部(海南保健所)総務健康安全課 並川まで TEL
073-482-0600(代)(本事業については並川以外は把握していません、並川あて直接お願いします)

和歌山県臨床衛生検査技師会経由の情報提供です

大阪アメ村で検査等ボランティア募集 <http://www.waringi.jp.org/vctborabosyu.html> より



輸血分野【研修会】07-021

日時：平成19年9月22日（土） 14：00～17：00

会場：京都府臨床検査技師会川端丸太町事務所

主題：輸血検査基礎勉強会

講師：相田幸雄 技師（京都南病院検査室）他、輸血検査研究班運営委員株式会社

生理【実技講習会】07-029

日時：平成19年9月29日（土）14：00～17：00

会場：京都保健衛生専門学校

主題：超音波実技講習会

講師：鮎川宏之 技師（医仁会 武田総合病院）他、生理検査研究班運営委員

一般分野【研修会】07-008

日時：平成19年10月10日（水）18：30～19：30

会場：京都保健衛生専門学校

主題：一般検査基礎講座5

穿刺液検査（髄液・胸水・腹水）

講師：佐伯仁志 技師（NHO京都医療センター）

輸血分野【研修会】07-022

日時：平成19年10月20日（土） 14：00～17：00

会場：京都府臨床検査技師会川端丸太町事務所

主題：輸血検査基礎勉強会

講師：相田幸雄 技師（京都南病院検査室）他、輸血検査研究班運営委員

情報【研修会】07-023

日時：平成19年10月20日（土） 15：00～17：00

会場：京都大学医学部附属病院検査部会議室

主題：医療統計学講座1

講師：佐藤俊哉 先生（京都大学大学院医学研究科社会健康医学専攻 医療統計分野 教授）

11/17, 12/15, 1/12, 2/16, 3/8：シリーズ開催予定

< 京臨技の後援事業の開催案内 >

「診療病床の再編成に関する府民フォーラム」

平成19年9月8日（土）

京都府医師会館2階大ホール

主催：京都私立病院協会

主催：（社）日本放射線技術学会

シンポジウム「『やりなおせる国・日本』を創ろう - 社会保険基本法を手がかりに」

平成19年9月29日（土）

池坊学園こころホール

主催：京都府保険医協会

日本医療マネジメント学会第5回京滋地方会 テーマ：患者中心の医療

- チーム医療と医療連携 -

会期：平成20年2月16日（土）

会場：京都テルサ 京都勤労者総合福祉センター

カテゴリー：クリティカルパス、診療情報・診療録（電子カルテ、情報保護など）、医療安全、感染対策、医療連携、チーム医療（IC T、NST、褥瘡対策など）、病院経営

講演：医療法人近森会 近森病院 院長

近森 正幸 先生

京都府立医科大学附属病院 感染対策部長

藤田 直久 先生

「脳卒中の予防と社会復帰のために

- 最新の脳の検査法と治療法 - 」

平成19年12月9日（日）

ぱるるプラザ京都

平成19年度第1回定例理事会議事録

日時：平成19年6月14日(木)18:30~20:30
 場所：京臨技川端丸太町事務所
 議長：湯浅宗一 議事録署名人：白井、小澤
 出席顧問：田畑 出席監事：なし
 出席理事：湯浅、今井、白波瀬、芦田、石澤、今田、江見、大田、荻野、小澤、小原、佐々木、白井、豊山、丹羽、林(孝俊)、林(雅弘)、廣瀬、
 委任状出席：若栗 出席事務局員：山方

1.【報告事項】

湯浅会長報告

日臨技関係

- ・日臨技総会：執行部提案の議題は承認された。
- ・地区会長会議：日臨技と地区技師会のあり方について曖昧な点があるので、日臨技の公益法人化にあたり整理していく。現状地区技師会は日臨技支部であるが、地区技師会ではその認識が希薄であること、互いに今の状態を良い方に解釈して事業を行っている側面があるのでこの辺を整理する。
- ・全国学会の件：学会あり方委員会の報告を踏まえて開催される学会が平成22年の学会である。この報告では開催地は大都市圏、開催県は企画を中心に考えることになるので今まで宿泊、会場難で開催が困難であった府県でも可能となる。そうした中で平成22年度は近畿地区で行う方向で進められ、開催地は今まで開催していない県を優先とする。
- ・日臨技役員：近畿より日臨技副会長に富永兵庫県会長を推薦する
- ・学術関係：近畿地区の研修会開催について手順(既報)を改めて学術より提案あり。近臨技理事会の日程：今後の日程を確定(下記)
- ・後援依頼：中国ハルピンで開催される中国東北臨床検査交流会に近臨技の後援を承認

京臨技関係

- ・定期総会の件：無事終了
- ・企画調整会議：第1回定例理事会議案調整

芦田副会長報告

・近臨技議題

- 1) 平成18年度会計報告・事業報告(承認)
 - 2) 平成19年度予算・事業計画(承認)
 - 3) 平成22年度日本医学検査学会開催地の件・・・会長が調整中
 - 4) 平成19年度近臨技理事会日程について(6月13日、9月22日、11月25日、12月12日、2月2日(OB会兼)、4月9日)
 - 5) 平成19年度地区連絡協議会日程について(09月22日)
 - 6) 学術部・・・(荻野理事報告)
- 05月13日、近臨技理事会(大阪府臨床検査技師会事務所)
 近臨技分野長の選出予定
 平成20年度近畿医学検査学会(20年10月18日、19日;兵庫医療大学)の企画会議(シンポジウムなど)を19年12月01日(土)兵庫医療大学で開催、各府県の学術部長、研究班班長を招集
 05月13日、近臨技チーム医療推進委員会(大阪府臨床検査技師会事務所)
 平成19年度近臨技主催のチーム医療実践セミナー2007大阪(2008年2月9日(土)JICA大阪国際センター)開催予定
 内容・平成17年、18年の内容を継続重視(チーム別セミナー)

初心者にも参加しやすいセミナー・技師長(管理者)クラスも参加できる内容

7) 日臨技会長職有給制度について検討する諮問委員会委員の選出について：奈良県会長 倉本氏

8) 後援依頼について・・・(荻野報告)

ハルピンにて開催(09月08~10日予定の中国東北臨床検査交流会、後援依頼があった

9) 血清研修会決算報告について

白波瀬副会長

- ・京都府糖尿病協会顧問・理事会(06月28日(木)18時30分から京大会館にて開催)小原理事に出席依頼

荻野学術部長報告

- ・06月26日(火)日臨床化学分野研修会テーマ「生化学における標準化」開催予定(於：京都保健衛生専門学校)

・研究班班長・会計会議を7月31日に開催：JAMITIS登録及び生涯教育制度の変更点の説明、会計業務の説明

小澤総務部長報告

- ・生涯教育研修制度「修了証書」発送。京臨技修了者16名、日臨技2,189名

- ・生涯教育研修制度「履修通知」06月末発送予定

- ・7月行事予定、会報発送予定 06月20日

江見理事報告

- ・6月8日現在の会員数は937名(新・再入会56名含む)

豊山理事報告

- ・06月10日第42回京都病院学会開催(京都府医師会館・京都市立看護短期大学)

大田理事報告

- ・05月16日第34回くらしと健康展 第1回実行委員会(京都府医師会館)

開催日時 平成19年9月15日(土)16日(日)

開催場所 京都府総合見本市会館(パルスプラザ)「SKYふれあいフェスティバル2007」すこやかゾーン

石澤理事報告

- ・日臨技のデータ共有化事業について

日臨技の共有化事業の会議には、京都府から京大：志賀氏、府立医大：南部氏が出席した。京臨技としてその2名に内容説明をしていただくとともに、どういった協力ができるのか考えて行きたい。

田畑顧問報告

- ・第54回学会記念誌について

東広社より第54回学会記念誌作製についての進捗状況の報告があった。

6月15日(金)に製本作業に入り、18日(月)完成し、19日(火)発送、会員には21日(木)ごろに届く予定。

2.【議題】

- 1 本年度の事業についての確認(承認)

1) 理事会開催日程

開催日：第二週の木曜 場所：京都保健衛生専門学校と京臨技事務所で交互とする。

2) 事業年間計画

- ・啓発及び保健衛生事業

平成19年度事業計画どおり実行予定

- ・研究・研修会事業

合同研修会を考え、目標に掲げた回数を開催する

- ・精度管理事業

例年通り10月に予定しているが、今年も日医のサーベイと

重ならないようにしたい。詳細な日程は日医のサーベイの日程が決まってからとなるため、7 月位になる。

今年度から、日臨技のデータ共有化事業がはじまるが、精度管理事業の一部としてバックアップして行きたい。

・ 広報活動

会報は予算の面から奇数月に発行

・ 総務事業

1. 公益法人化にむけて

公益法人に向けて理事会ごとに勉強をしていきたい

京都府に問い合わせたが京都府も模索中とのこと

来年度は理事役割分担で公益法人担当を決める

2. クリーン作戦について・・・承認

年 1 回開催しているクリーン作戦を年 2 回として生涯教育 A に該当させる。理事が企画書を作成する。

2. 研究班班長・会計向け会議について

1) 合い見積りの一元化

会報・会誌・議案書などの印刷物は見積りを必ずとる。業者は担当が現在取引のある 1 社と総務から 2 社の 3 社者程度とする。見積りは総務に集約し安価な社に決定する。見積りを取る上で印刷以外の作業を業者に依頼したいときは事前に総務にも伝える事。

2) 研究班班長・会計向け会議（承認）

07 月 31 日に研究班班長・会計向けの会議を開催する。内容は学術内規説明、会計処理方法の実際について。

3. 携帯サイト用の京臨技ホームページについて（継続審議）

予算を確認後検討する

4. 備品について（承認）

19 年度購入什器備品：PC3 台

今井副会長、芦田副会長、林雅弘理事に貸与。

丹羽理事が現在使用中の PC は清井監事へ貸与

5. 議事録について（承認）

理事会書記は理事業務軽減の為、山方さんに委託していたが、川端丸太町事務所の本格稼働にともない事務作業がかなり増えているため担当理事三人に再度お願いする。

報告事項については行動報告も含めて理事会当日までにまとめた形でメーリングリストに流してもらい、メールが困難な場合は別紙を理事会当日に持参する。

6 その他

1) 会誌への会員名簿の非記載について（承認）

役員名簿と賛助会員名簿は載せ会員名簿は載せない

会員名簿は JAMTIS で閲覧可能である事を記載する

2) 日臨技 JAMTIS 説明会参加者（承認）

山方と林（孝）または小澤で調整する

3) 近畿医学検査学会（承認）

演題が少なく各理事の施設でできるだけ出せるよう努力要請

4) 技師連盟

参議院選挙に向けて、日本臨床検査技師連盟は今までの通り与党のみの推薦をする。

野党については各、都道府県で独自に対応して下さいと報告があった。

次回理事会 日時：07 月 12 日（木）18:30~20:00

会場：京都保健衛生専門学校 大会議室

平成 19 年度第 2 回定例理事会議事録

日 時：平成 19 年 07 月 12 日（木）18:30~20:30

場 所：京都保健衛生専門学校 大会議室

議 長：湯浅

書 記：白井 議事録署名人：白井、白波瀬

出席顧問：田畑 出席監事：なし

出席理事：湯浅、今井、白波瀬、芦田、石澤、今田、江見、大田、荻野、小澤、佐々木、白井、丹羽、林（孝俊）、林（雅弘）若栗

欠席理事：小原、豊山、廣瀬 出席事務局員：山方

1. 【報告事項】

田畑顧問

・ 第 54 回日本医学検査学会記念誌について

- 1. 製作部数 1200 部
- 2. 関係者への配布部数 約 1150 部
- 3. 残部の約 50 部 川端丸太町事務所に保管
- 4. 関係者へは 06 月 27 日頃から発送した
- 5. 学会記念誌の PDF データ入り CD（配布はしない。2 枚を事務所に保管する）

・ 第 55 回の島根学会の記念誌が届いた。（回覧）

湯浅会長

1) 日臨技関係

- * 平成 20 年、21 年の次期会長、副会長の選挙期等に関する公示がされた
- * 日臨技会長より学会記念誌送付に対する礼状が届いた。（回覧）

2) 近臨技関係

- * 07 月 3 日（火）14:00-16:00
JICA 研修員選考委員会 於：JICA 大阪

7 カ国（ベナン、ブルキナファソ、マリ、ニジェール、セネガル、ギニア、マダガスカル）14 名の研修員決定。2 名/1 国（但し、ギニア 1、マダガスカルは 3 名）

出席者：JICA 3 名、JIMTEF 2 名、近臨技 5 名

* 07 月 8 日（日）11:00-16:00 於：JICA 大阪

JICA 仏語圏アフリカ研修検査技術コース事前説明会

出席者：JICA 3 名、JIMTEF 2 名、

* 近臨技（海外協力委員会委員、実習受け入れ施設責任者）

3) 京臨技関係

* 07 月 10 日（火）18:30-20:30

企画調整会議 於：京都保健衛生専門学校

* 07 月 11 日（水）18:30-20:30

日臨技データ共有化に関する会議 於：京都府立医大臨床検査部

* 06 月 21 日付、兵庫県技師会長名で 1 技師長逮捕の不幸事に関する詫状が届いた。（回覧）

今井副会長

* 第 18 回北部学術発表会日程が下記のように決定した。

12 月 15 日（土）福知山 サンプラザ万助（昨年と同場所）

記念講演：金沢大学医学部 大村健二先生

* 北部での理事会の開催については提議があった。

白波瀬副会長

* 京都府糖尿病協会顧問・理事会に出席

06 月 28 日（木）18:30~（於：京大会館）

* 会報 No.20（平成 19 年 07 月 01 日号）発行

荻野学術部長

* 『第 47 回近畿医学検査学会』及び『第 50 回日本臨床検査医学学会近畿支部総会』の一般演題の座長候補者推薦を学会事務局に提出した。（14 名）（07 月 05 日）

- * 学術部臨床検査研修会を06月26日開催した。
テーマ『生化学における標準化』参加者21名
- * 07月31日、学術部会議(学術部・研究班班長・研究班会計)を京都保健衛生専門学校で開催する。
小澤総務部長
- * 会誌、会報、行事予定表、研修会案内を全会員へ発送した。
- * 日臨技生涯教育履修通知発送 対象者483名。
- * 07月09日に京都府医療室医務担当係長より新事務所について問い合わせがあった。移転ではなく事務所を増やした。登記上の事務所は京都保健衛生専門学校のままであり定款変更はしない事について説明し、理解を得た。
豊山理事
- * 07月03日(火)第42回京都病院学会反省会に出席した。
学会の参加者1810名(昨年比+69名) 演題数346題
林(孝俊)理事
- * 07月31日(火) 班長・会計 オリエンテーションで「生涯教育研修制度」を説明する。
- * 新入転入会員研修会を下記のように予定した。
日時:09月14日(金) 18:00~21:00
会場:京都教育文化センター
講演:「「これからの技師に望むもの」 講演者:京大病院・田中美智夫技師長
役割分担や動態表は8月理事会に提出する。理事は原則的に全員出席となる。班長が出席できない時は代理を立てること。近年、班長の代理を他班の班長がしていることが目立っている。善処を望みたい。連絡はメーリングリストに載せる。
江見理事
- * 07月09日現在の会員数は946名(新・再入会65名含む)であった。
大田理事
- * 07月18日 第34回くらしと健康展 第2回実行委員会出席(京都府医師会館)
石澤理事
- * 日臨技データ共有化事業についての話し合いを行った。
日時:07月11日 18:30~
場所:京都府立医大臨床検査部技師室
出席者:志賀、西山(京大)、南部(府立医大)、湯浅、石澤(京臨技)
以下の事業の概略とスケジュール等の説明(南部)
1 本計画は3年計画になっている(来年度以降についての計画は未定)
2 今年度は基幹施設での標準物質とプール血清の測定
3 来年度以降に参加施設を募ってはどうか
4 データ共有化の事務局の設置が必要
以上の点をふまえて、本会の精度管理事業の一環としてこの事業を進めて行くことを確認した。具体的には今年度は以下の5~9のように進めていくことにした。
5 今年度は、基幹施設である京大と府立医大でデータが一致しているかをみる。
6 参加施設の募集やサンプルの配布は、京臨技の事業として行う。
7 今年度の京臨技のサーベイで、データ共有化で対象となる29項目
(参考項目をいれると32項目)を実施する。
8 来年度は「日臨技の共有化」ということを総会等でアナウンスし、京臨技のサーベイの一環として進めていく。
9 データの入力に良い方法がないか検討する。
佐々木理事
- * 会誌(総会号)の広告原稿を一社分(第一化学)紛失し、三役と相談の結果、原稿を再度送って頂き、会報に掲載することで了解を頂いた。

2.【議題】

- 1) くらしと健康展(大田理事)・承認
出展内容について昨年同様
理事の出務者について
09月15日(土) 広瀬、湯浅、佐々木、丹羽
09月16日(日) 小澤、林(孝)、林(雅)、大田

一般会員の出務者募集について研究班と行事予定表に募集をかける
出務者の生涯教育履修点数について事業部学発で点数申請する

- 2) 携帯サイト用の京臨技ホームページについて(丹羽理事)・承認
以下のごとく丹羽理事より報告および説明があった。
・経費のかからない方向で進めている。
・携帯の画面を考慮すると収載情報は研修会の内容が主になる。
・現在の内容も変更したいと考えているが、内容は広く募集したい。
- 3) 北部開催の理事会(今井副会長)・継続審議
事務所の維持費のため交通費および宿泊費の支給は会計的に厳しい(江見理事)
学会開催日の午前中に理事会開催を検討する。
- 4) 学会関連の旅行斡旋(小澤総務部長)
保健衛生専門学校が来年度の学生の研修旅行として日臨技北海道学会ツアーを行う予定だが、格安であったため、今後の本会会員の学会参加にも団体として旅行斡旋してはとの提案があった。
本会の事業としてなじまないため、広報に限り了承された。
- 5) 他府県技師会との組織的交流について(芦田副会長)
他の地臨技と情報交換あるいは事業の共同開催はする。
特定の地臨技と姉妹提携などの組織的に交流は見合わせることにした。
- 6) 微生物研究班の事業、メーカーとの共催の可否についての伺い(荻野学術部長)
主催・共催・協賛・後援取扱内規ではメーカーとの共催は理事会の承認を要するとしてあるため、微生物班から所定の申請書類を理事会に提出してもらい、検討する旨、手続きを確認した。
- 7) 大阪アメ村で検査等ボランティア募集を本会ホームページへリンクすることの可否(荻野学術部長)・承認
「和歌山県臨床検査技師会ホームページのお知らせ」にあるHIV検査のボランティア募集

次回理事会 日程:08月09日(木)18:30
会場:川端丸太町事務所

< 編集後記 >

マラリアが大流行しており、史上最悪ともいえる状況だそうですね。世界保健機関(WHO)は、1年間で5億人がマラリアに感染し、少なくとも100万人が死亡していると推計しています。とくにザンビアなどサハラ砂漠以南のアフリカにはマラリア流行の深刻な国々が散らばっているそうです。

一方、日本では渡航先で感染して、帰国してから発症するケースは毎年100~150人ほど報告されているそうですが、国内での流行は起きていません。

アフリカと言えば、京臨技では昨年に続き、JICA 仏語圏アフリカ研修検査技術コースに協力いたします。今年も京臨技会員に協力いただくこととなりますが、我こそは協力しようという方は是非ご一報ください。

ところで、マラリアは一度接種すれば感染が予防できるワクチンのような根本的な解決策はありません。また、地球温暖化がこのまま進むと、媒介するハマダラカが、現在は生息していない地域にまで生息域を広げる恐れがあります。かつて流行していた日本でも、マラリアが発生しないとは言いきれないので、臨床検査技師として心しておかねばなりません。(白)